

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2008年第12号(週報)

週報第12週(3月17日~3月23日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— 麻しん : 患者報告数5名 —

和歌山市保健所管内から5名の患者報告がありました。2008年の県内報告累計が16名となりました。

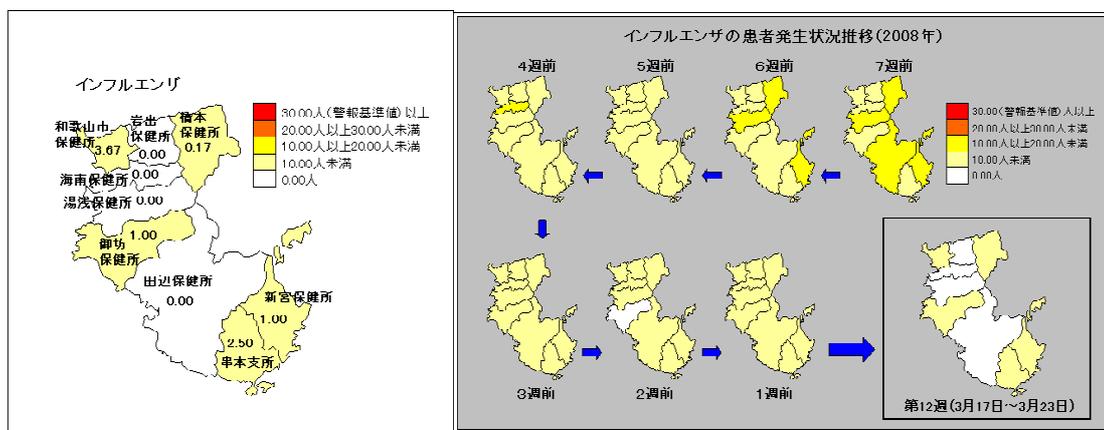
最近の麻しん発症者については10代~20代前半が中心となっています。これは、近年の麻しん患者減少に伴い、麻しん野生ウイルスに接触する機会が減少したため、ワクチン接種による免疫が弱くなった者が増加したこと、あるいは、10代後半のワクチン接種率の低いことが原因と考えられています。

ワクチン未接種かつ未罹患の方は感染リスクが高いのでワクチンの接種をお勧めします。

— インフルエンザ : 減少 —

県内の患者報告数は減少傾向にあります。前週(第11週:3/10~3/16)、串本支所管内の患者報告数が増加しましたが、第12週については減少しました。

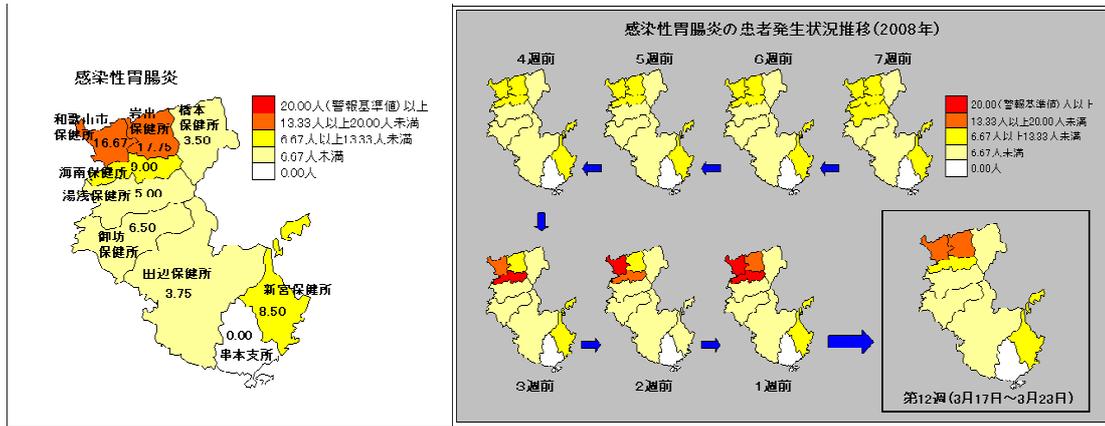
県内の流行はほぼ終息したものと思われませんが、全国的にはまだまだ警報・注意報が発令されている地域がある(但し、前週の情報による)ので、注意は必要です。



— 感染性胃腸炎 : 減少 —

県内の患者報告数については前週(第11週:3/10~3/16)まで増加が続いていましたが、第12週は減少に転じました。地域別では、和歌山市、海南および岩出保健所管内に多い状況ですが、前週と比較すると、これらの地域についても全て減少しています。

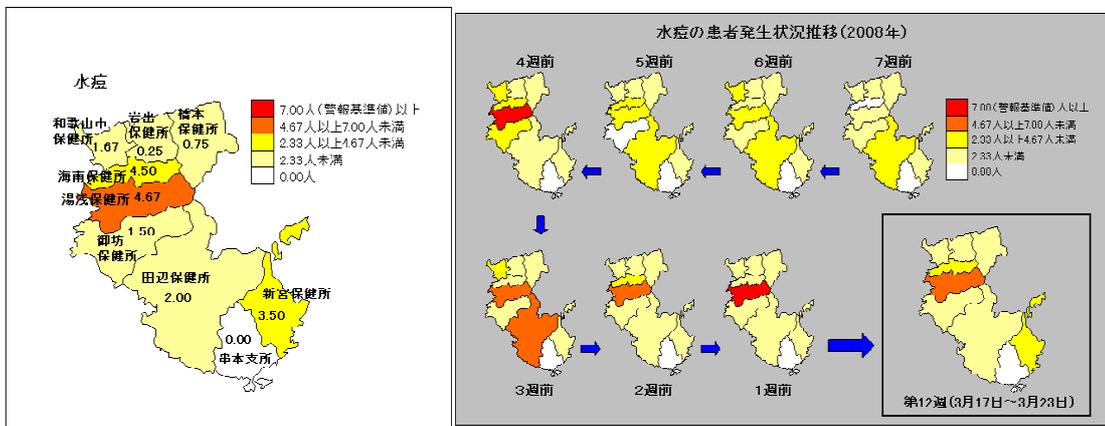
前週の報告では、和歌山市保健所管内と海南保健所管内に警報が発令されていましたが、今週、海南保健所管内の警報は解除され、和歌山市保健所管内の警報は継続されました。



— 水痘 : 湯浅保健所管内に警報、海南保健所管内に注意報発令中 —

県内の患者報告数は過去5年(2003年~2007年)の同時期と比較して特に多くはありません。

地域別では湯浅保健所管内で多い状況が続いています。第12週の患者報告数は前週(第11週: 3/10~3/16)と比較して大きく減少しましたが、第8週(2/18~2/24)に発令された警報については今週も継続されました。また、海南保健所管内の患者報告数も増加し、今週新たに注意報が発令されました。



— その他 —

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 警報・注意報が発令されている地域はありませんが、患者数の多くなる時期に入っています。現在のところ、2006年、2007年とほぼ同様の推移を示しています。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

＜届出状況＞ ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核 3名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 1名
- 4類感染症: 報告はありませんでした。
- 5類感染症: 麻しん 5名

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

＜警報注意報発令状況＞

警報発令

感染性胃腸炎(和歌山市保健所管内)、水痘(湯浅保健所管内)

注意報発令

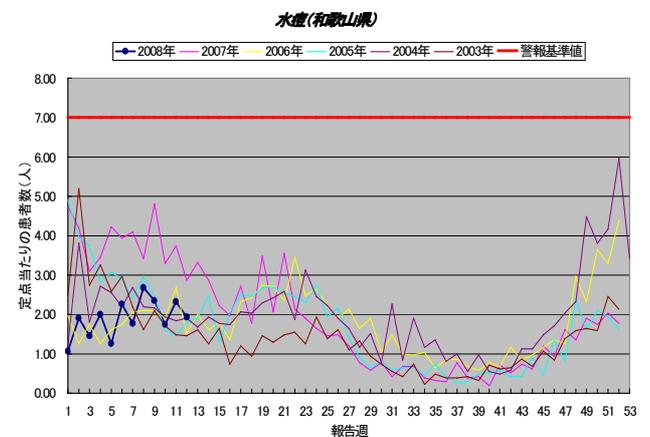
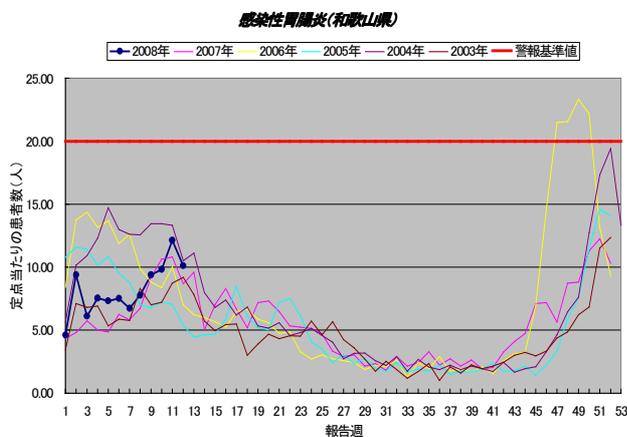
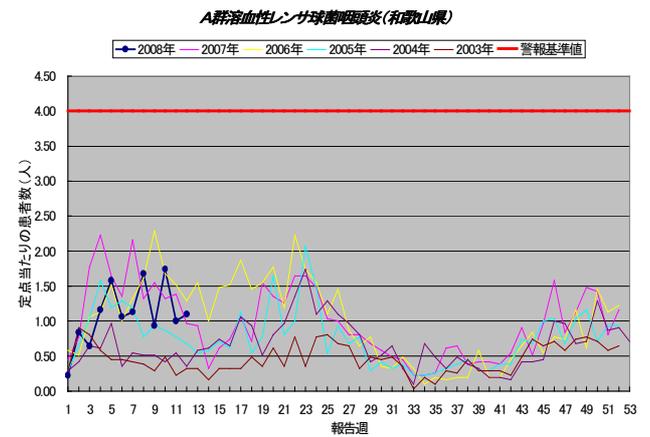
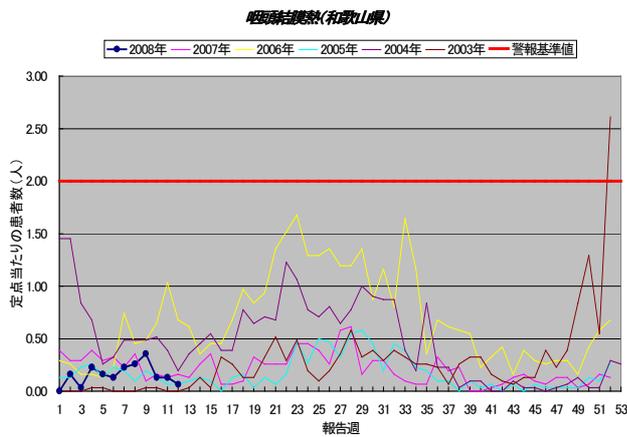
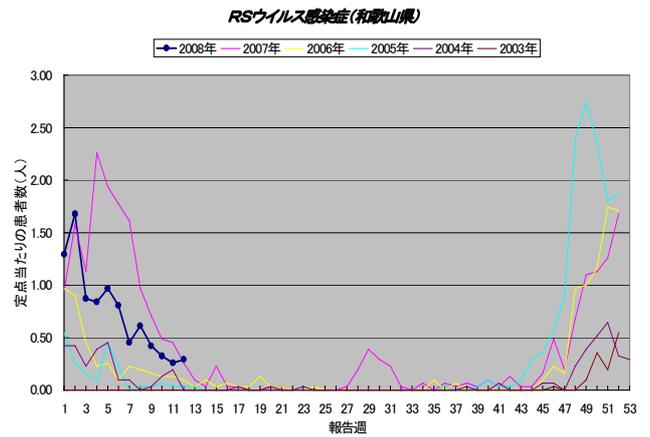
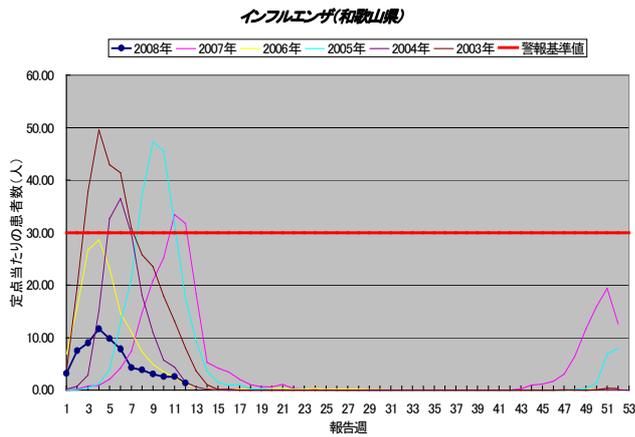
水痘(海南保健所管内)

＜患者数上位 5 位＞

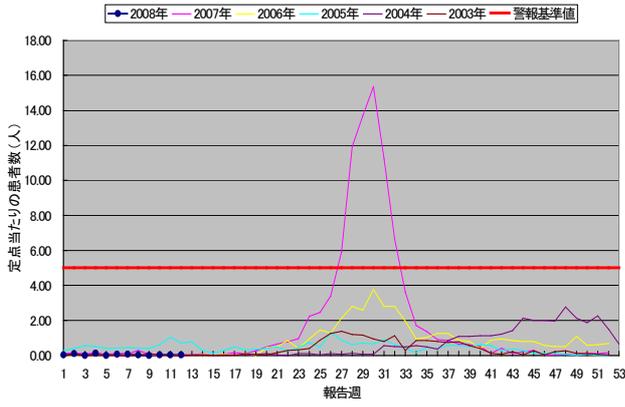
- 1位 感染性胃腸炎(10.10)
- 2位 水痘(1.94)
- 3位 インフルエンザ(1.34)
- 4位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.10)
- 5位 突発性発疹(0.77)

＜週報定点グラフ総覧＞

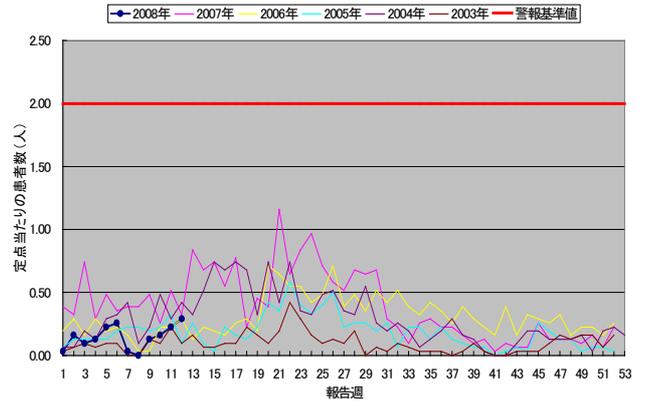
1. 患者数の推移（過去 5 年の推移と比較）



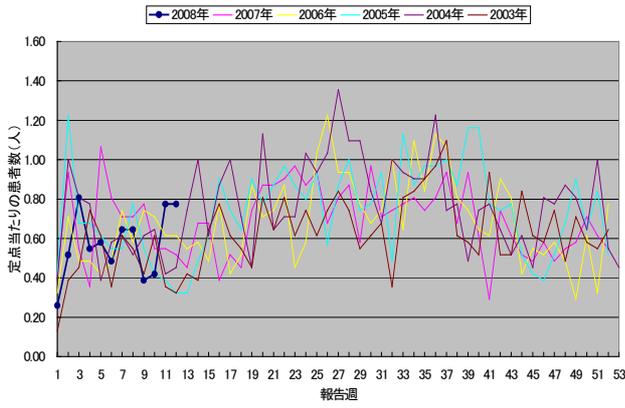
手足口病(有歌山県)



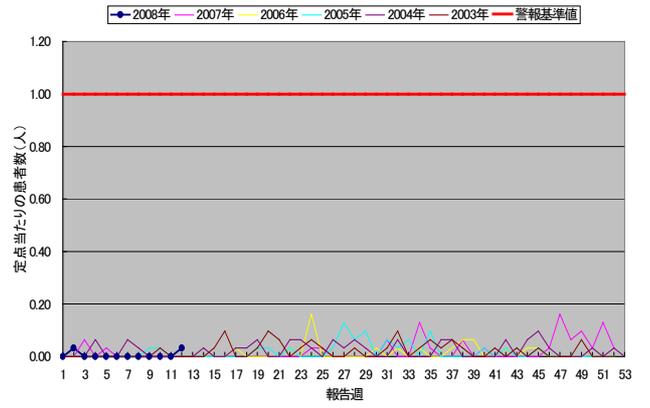
伝染性紅斑(有歌山県)



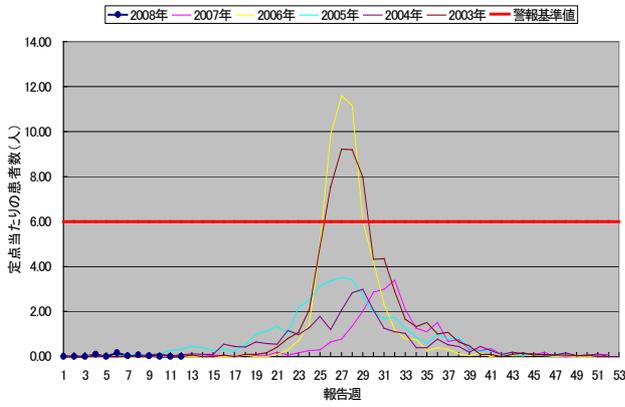
突発性発疹(有歌山県)



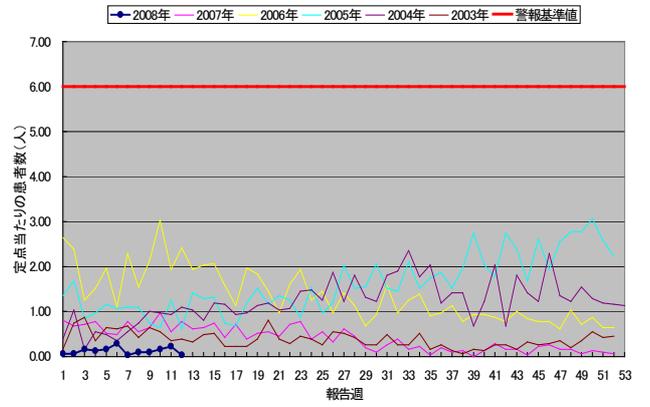
百日咳(有歌山県)



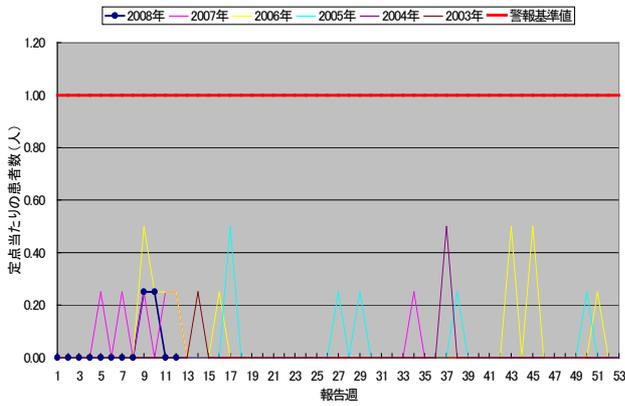
ヘルペシナ(有歌山県)



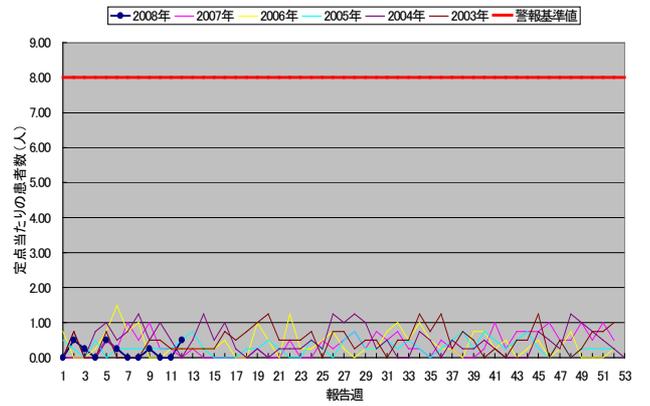
流行性耳下腺炎(有歌山県)



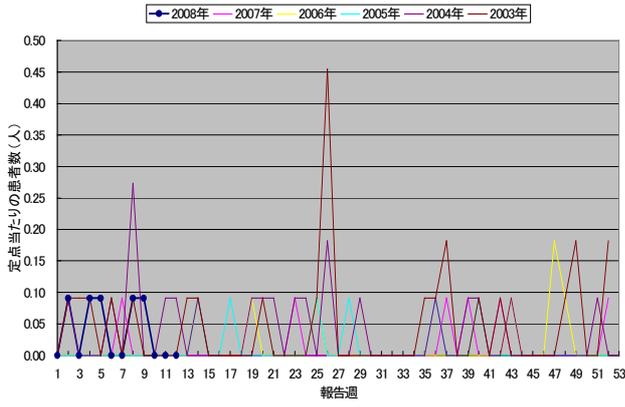
急性出血性結膜炎(有歌山県)



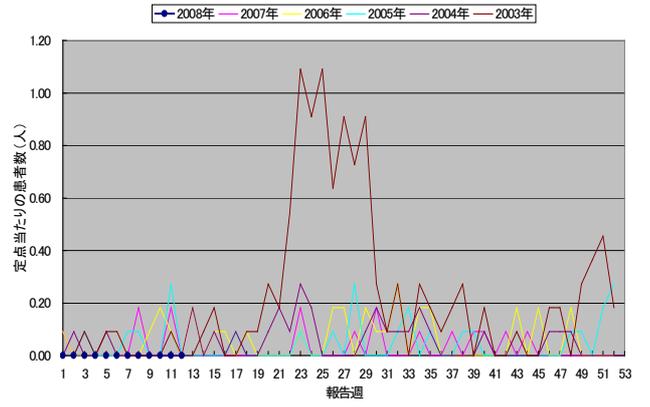
流行性角結膜炎(有歌山県)



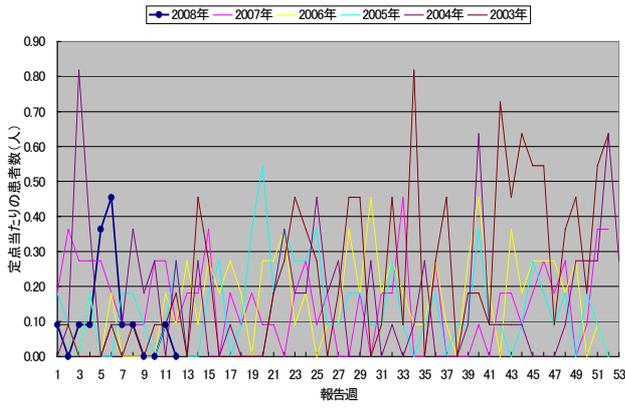
細菌性髄膜炎(和歌山県)



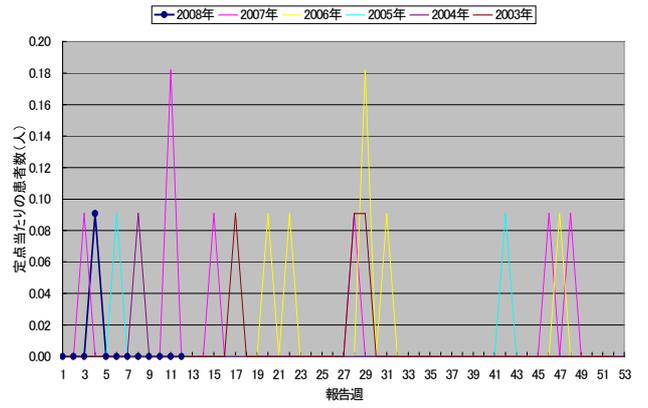
無菌性髄膜炎(和歌山県)



マイコプラズマ肺炎(和歌山県)

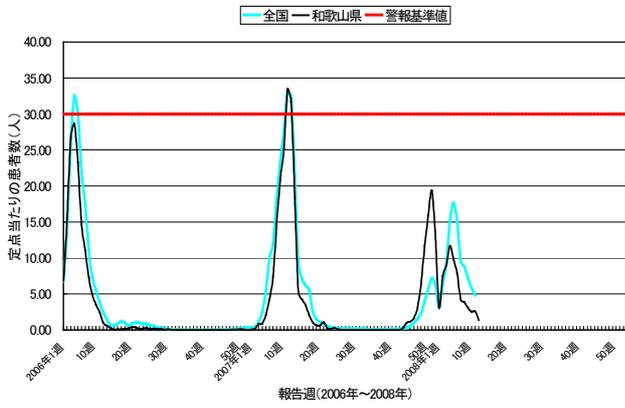


クラミジア肺炎(和歌山県)

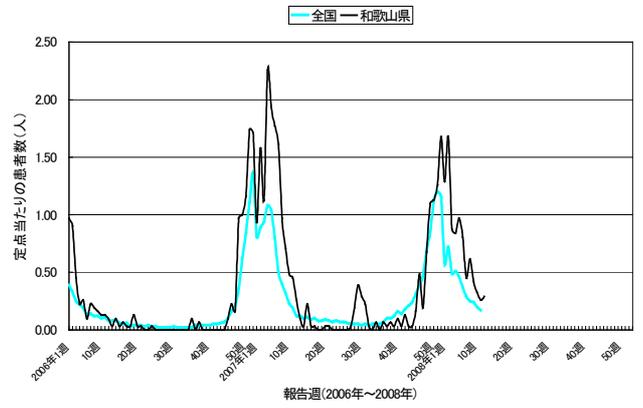


2. 患者数の推移 (全国と比較)

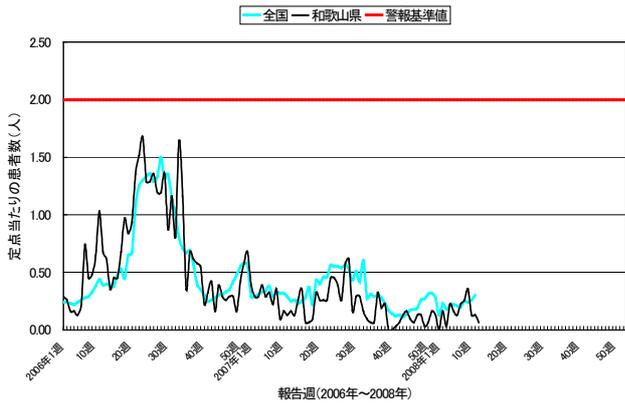
インフルエンザ



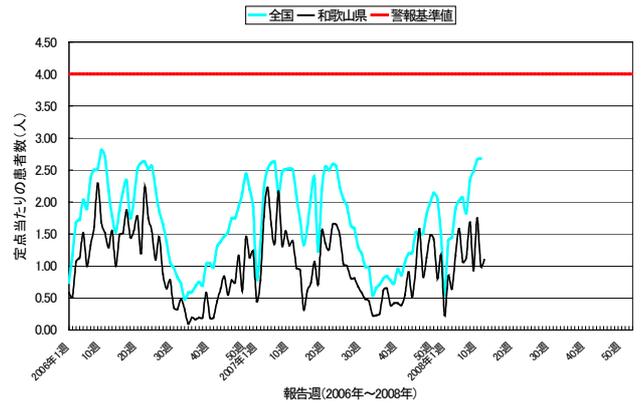
RSウイルス感染症



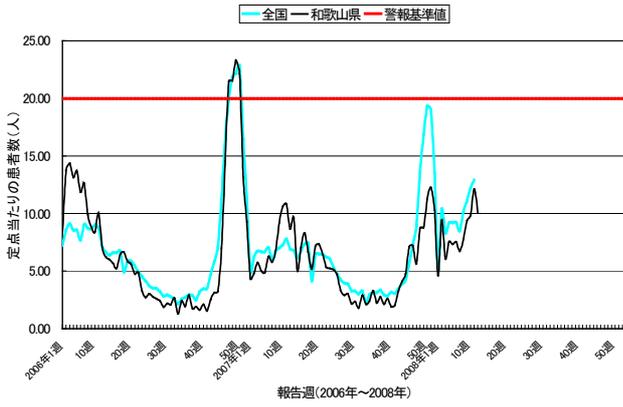
咽頭結核熱



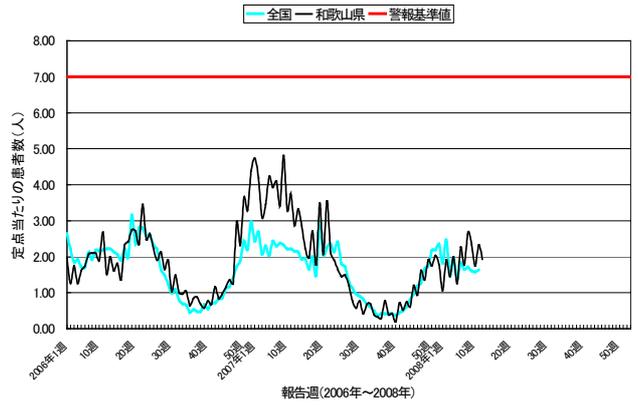
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



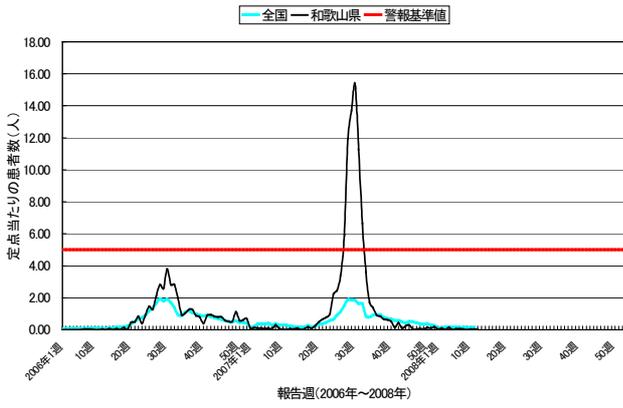
感染性胃腸炎



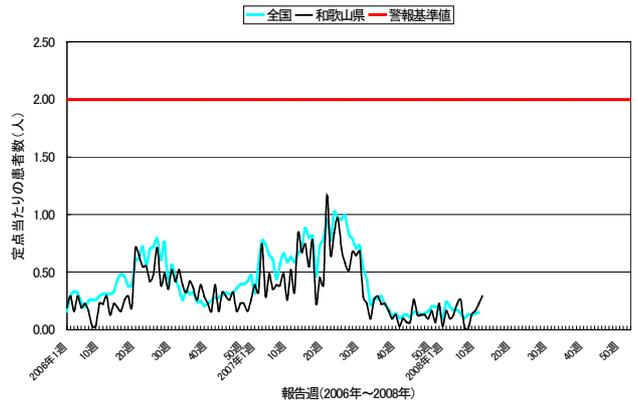
水痘



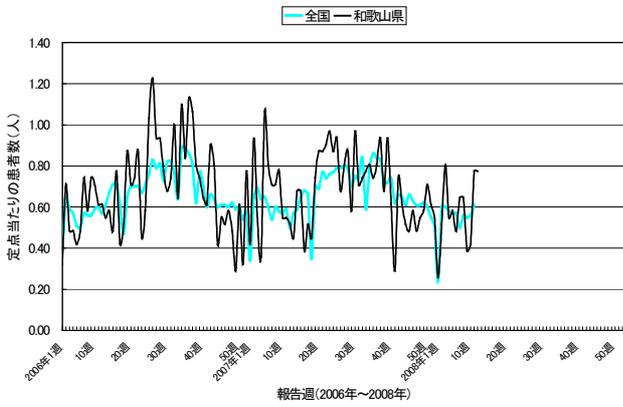
手足口病



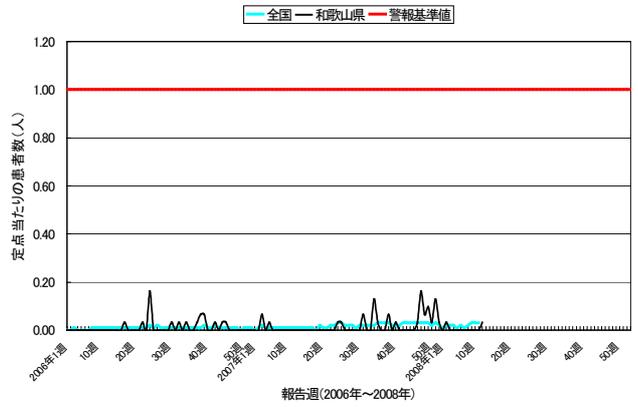
伝染性紅斑



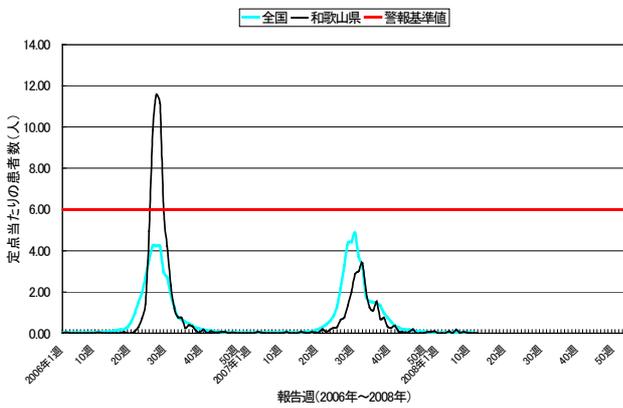
突刺性発疹



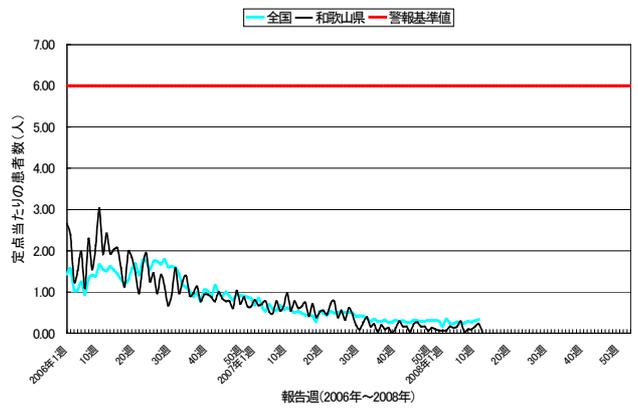
百日咳



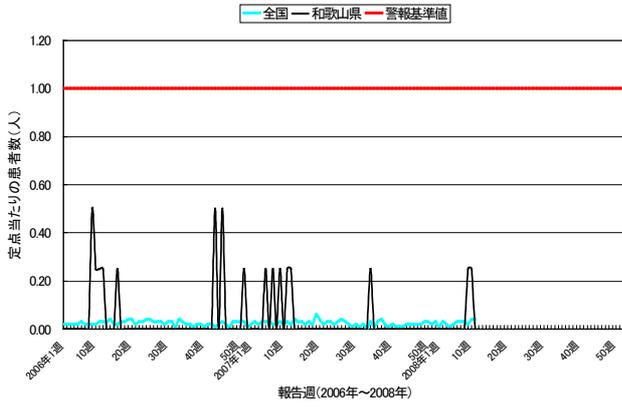
ヘルペギナ



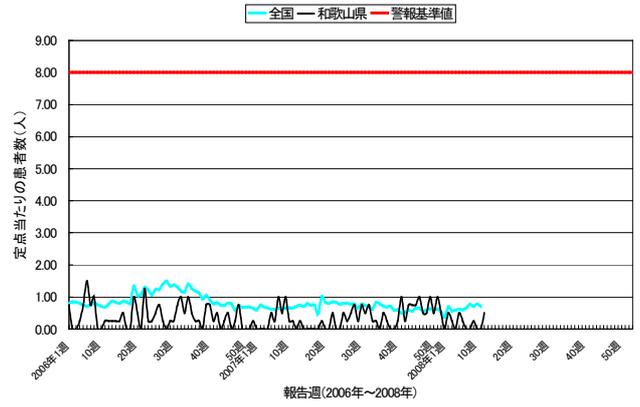
流行性耳下腺炎



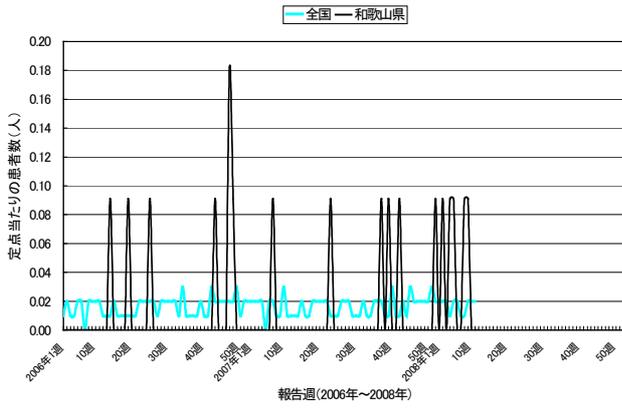
急性出血性結膜炎



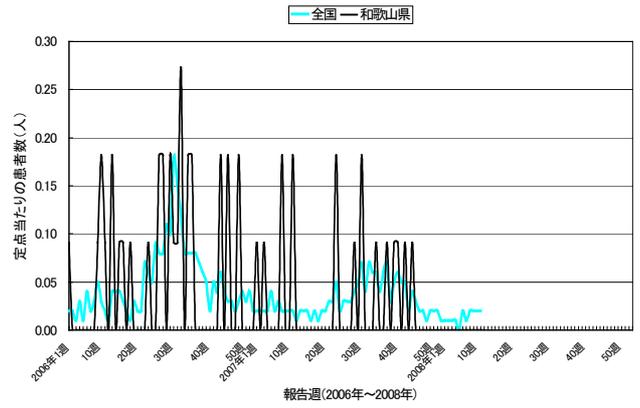
流行性角結膜炎



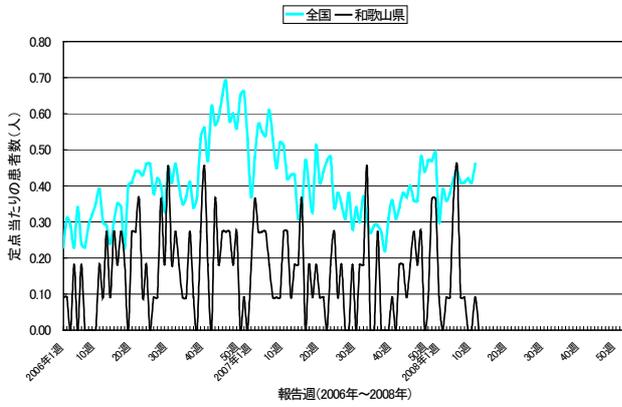
細菌性結膜炎



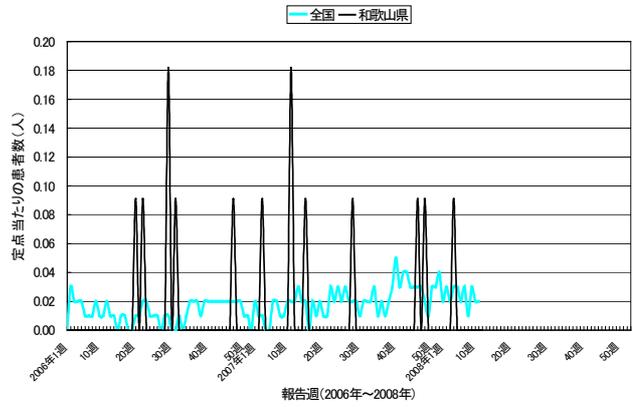
無菌性結膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



◆◆ 集計データ ◆◆

<全数把握対象感染症>

2008年第12週 保健所別の患者報告数 ()内は2008年累計

分類	感染症名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮 (串本)
1類	エボラ出血熱										
	クリミア・コンゴ出血熱										
	痘そう										
	南米出血熱										
	ペスト										
	マールブルグ病										
2類	ラッサ熱										
	急性灰白髄炎										
	結核	3(50)	0(18)	0(3)	2(10)	0(2)	0(5)	0(1)	1(10)	0(1)	
	ジフテリア										
3類	重症急性呼吸器症候群										
	コレラ										
	細菌性赤痢	0(1)			0(1)						
	腸管出血性大腸菌感染症	1(3)		1(1)		0(2)					
	腸チフス										
4類	パラチフス										
	E型肝炎										
	ウエストナイル熱										
	A型肝炎										
	Eキノコックス症										
	黄熱										
	オウム病										
	オムスク出血熱										
	回帰熱										
	キャサスル森林病										
	Q熱										
	狂犬病										
	コクシジオイデス症										
	サル痘										
	腎症候性出血熱										
	西部ウマ脳炎										
	ダニ媒介脳炎										
	炭疽										
	つつが虫病	0(1)								0(1)	
	デング熱										
	東部ウマ脳炎										
	鳥インフルエンザ										
	ニパウイルス感染症										
	日本紅斑熱										
	日本脳炎										
	ハンタウイルス肺症候群										
	Bウイルス病										
	鼻疽										
	ブルセラ症										
	ベネズエラウマ脳炎										
	ヘンドラウイルス感染症										
	養しんチフス										
	ポツリヌス症										
	マラリア										
野兔病											
ライム病											
リッサウイルス感染症											
リフトバレー熱											
類鼻疽											
レジオネラ症											
レプトスピラ症											
ロッキー山紅斑熱											
5類	アメーバ赤痢	0(2)	0(2)								
	ウイルス性肝炎	0(1)	0(1)								
	急性脳炎										
	クリプトスポリジウム症										
	クロイツフェルト・ヤコブ病										
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										
	後天性免疫不全症候群	0(2)	0(2)								
	ジアルジア症										
	髄膜炎菌性髄膜炎	0(1)	0(1)								
	先天性風しん症候群										
	梅毒	0(1)	0(1)								
	破傷風										
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
	風しん	0(1)	0(1)								
麻しん	5(16)	5(11)	0(2)	0(1)			0(1)	0(1)			

< 定点把握感染症（週報） >

10週分（2008年03週～2008年12週）の患者報告数（和歌山県） ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2008年03週	2008年04週	2008年05週	2008年06週	2008年07週	2008年08週	2008年09週	2008年10週	2008年11週	2008年12週
インフルエンザ	448	△583	489	391	212	191	153	126	128	67
RSウイルス感染症	27	26	30	25	14	19	13	10	8	9
咽頭結膜熱	1	7	5	4	7	8	11	4	4	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	36	49	33	35	52	29	54	31	34
感染性胃腸炎	189	234	227	233	209	241	291	305	376	313
水痘	45	62	39	70	55	83	73	54	72	60
手足口病	0	4	0	2	2	1	0	1	1	1
伝染性紅斑	3	4	7	8	1	0	4	5	7	9
突発性発疹	25	17	18	15	20	20	12	13	24	24
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	0	3	0	5	1	2	1	0	0	0
流行性耳下腺炎	5	4	5	9	1	3	3	5	7	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
流行性角結膜炎	1	0	2	1	0	0	1	0	0	2
細菌性髄膜炎	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	1	4	5	1	1	0	0	1	0
クラミジア肺炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

10週分（2008年03週～2008年12週）の定点当たり患者報告数（和歌山県） ※○印は警報△印は注意報

疾病名	2008年03週	2008年04週	2008年05週	2008年06週	2008年07週	2008年08週	2008年09週	2008年10週	2008年11週	2008年12週
インフルエンザ	8.96	△11.66	9.78	7.82	4.24	3.82	3.06	2.52	2.56	1.34
RSウイルス感染症	0.87	0.84	0.97	0.81	0.45	0.61	0.42	0.32	0.26	0.29
咽頭結膜熱	0.03	0.23	0.16	0.13	0.23	0.26	0.35	0.13	0.13	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	1.16	1.58	1.06	1.13	1.68	0.94	1.74	1.00	1.10
感染性胃腸炎	6.10	7.55	7.32	7.52	6.74	7.77	9.39	9.84	12.13	10.10
水痘	1.45	2.00	1.26	2.26	1.77	2.68	2.35	1.74	2.32	1.94
手足口病	0.00	0.13	0.00	0.06	0.06	0.03	0.00	0.03	0.03	0.03
伝染性紅斑	0.10	0.13	0.23	0.26	0.03	0.00	0.13	0.16	0.23	0.29
突発性発疹	0.81	0.55	0.58	0.48	0.65	0.65	0.39	0.42	0.77	0.77
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
ヘルパンギーナ	0.00	0.10	0.00	0.16	0.03	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.16	0.13	0.16	0.29	0.03	0.10	0.10	0.16	0.23	0.03
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.25	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.50
細菌性髄膜炎	0.00	0.09	0.09	0.00	0.00	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.09	0.09	0.36	0.45	0.09	0.09	0.00	0.00	0.09	0.00
クラミジア肺炎	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2008年第12週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	67	55	0	1	0	0	3	0	3	5
RSウイルス感染症	9	2	4	0	0	0	3	0	0	0
咽頭結膜熱	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	11	7	2	4	6	0	3	1	0
感染性胃腸炎	313	○150	71	14	18	15	13	15	17	0
水痘	60	15	1	3	△9	○14	3	8	7	0
手足口病	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	9	0	4	4	1	0	0	0	0	0
突発性発疹	24	8	5	2	1	2	2	3	1	0
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
急性出血性結膜炎	0	0	-	-	-	-	-	0	-	-
流行性角結膜炎	2	2	-	-	-	-	-	0	-	-
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
クラミジア肺炎	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-

2008年第12週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、-は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	1.34	3.67	0.00	0.17	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	2.50
RSウイルス感染症	0.29	0.22	1.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	0.06	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	1.22	1.75	0.50	2.00	2.00	0.00	0.75	0.50	0.00
感染性胃腸炎	10.10	○16.67	17.75	3.50	9.00	5.00	6.50	3.75	8.50	0.00
水痘	1.94	1.67	0.25	0.75	△4.50	○4.67	1.50	2.00	3.50	0.00
手足口病	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.29	0.00	1.00	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	0.77	0.89	1.25	0.50	0.50	0.67	1.00	0.75	0.50	0.00
百日咳	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.67	-	-	-	-	-	0.00	-	-
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-

和歌山県感染症情報（WIDR）2008年第12号

発行日：平成20年3月26日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局健康対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-432-4111（代表）

（内線）2640

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。